

# 家庭ごみの減量に協力を

ごみ処理に1人当たり年間約1万2000円

平成28年度のごみ排出量は、2万7543 tで、そのうち家庭系ごみの排出量は1万9544 t、1人1日当たり、約536 gでした。

平成28年度のごみ処理費（収集、資源化、最終処分などの費用）は、約12億4258万円で、市民1人当たり約1万2000円を負担したことになります。

ごみ処理費用には、ごみ袋や粗大ごみシールの売上金（約2億7180万円）と約9億7078万円の税金が使われています。

皆さんのごみ減量の努力により確実に処理費用を削減できます。

## 「雑がみ」

捨てないで！



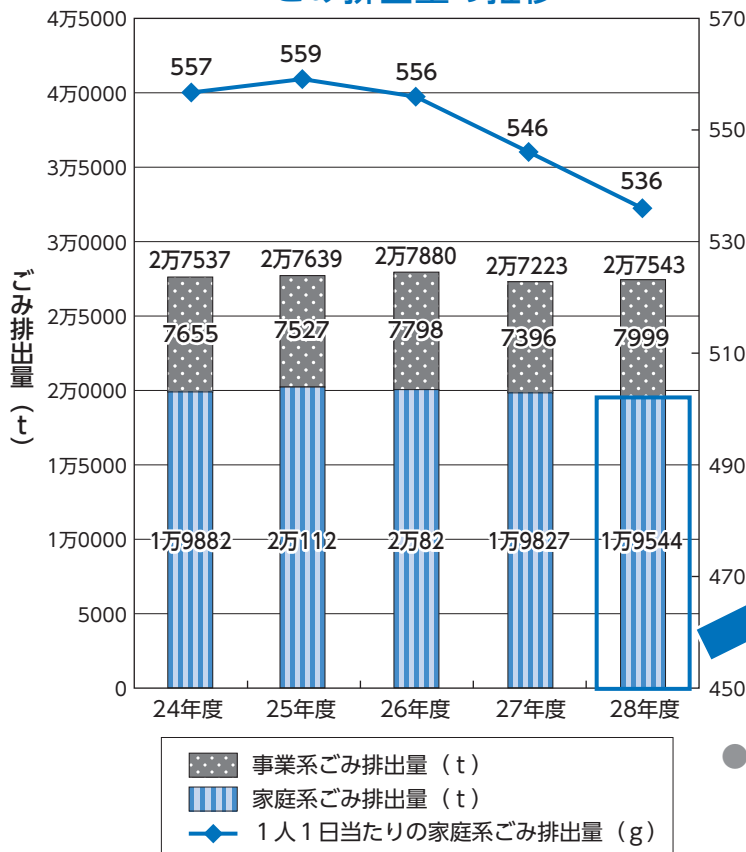
**ごみの現状 ～生ごみと「雑がみ」がキーポイント～**  
 もえるごみの中には、賞味・消費期限切れの食品や調理くずが多く混じっています。また、分別すればリサイクルできる「雑がみ」も多く出されています。これらを減らすことでごみ減量につながります。

## ごみ減量のポイント

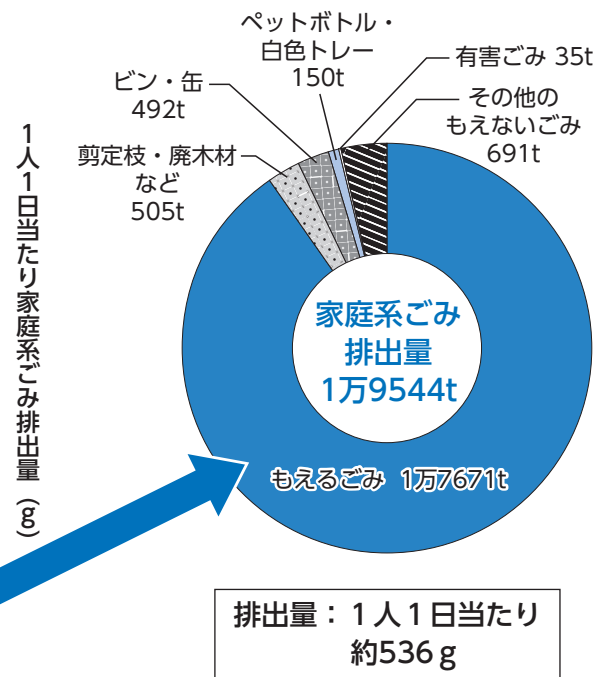
- ◇食品を買いすぎない。
- ◇賞味期限と消費期限の意味を知る。  
 賞味期限…おいしく食べることができる期限  
 ※この期限を過ぎてもすぐに食べられないことはない。  
 消費期限…期限を過ぎたら食べないほうがよい期限
- ◇野菜などの傷みやすい食品は早めに使い切る。
- ◇食べ切ることができる量に合わせて調理し、作り過ぎない。

- ◇捨てていた野菜の茎や皮を使って調理する。
- ◇新聞紙・ダンボール・雑誌・「雑がみ」（包装紙・トイレットペーパーの芯・菓子箱など）・飲料用パック・古布は、古紙等回収倉庫や集団回収に出す。
- ◇資源ごみ（ビン・缶、ペットボトル・白色トレイ）はきれいに洗って出す。  
 ※汚れているものは、リサイクルできません。

ごみ排出量の推移



平成28年度家庭系ごみ排出量



●問い合わせ先

環境・最終処分場対策課廃棄物・最終処分場担当  
 ☎(580)1889